



楽しみながら思い思いの作品に仕上げられています

## 家族連れでにぎわう 春の寒風陶芸展

寒風陶芸会館で5月3～5日の3日間、春の寒風陶芸展が開催されました。家族連れや友人のグループが多数訪れ、土ひねりや絵つけに挑戦し、思い思いの作品を仕上げている。また、寒風陶芸の里の作家による作品の展示・販売も行われ、大勢の皆さんが、作品を熱心に見学しました。土ひねり体験をした吉川啓子さん（27歳・姫路市）は、「思ったより、きれいに仕上がりました。焼き上がりを楽しみです」とうれしそうに話していました。

## 自分たちの手で美しい森を 森と海をつなぐ植樹のつどい

参加者は、下草刈りをした後、アラカシ、シラカシ、ウバメガシ、アベマキ、コナラなどの苗の幸に栄養をもたらす原木600本を一本一本丁寧に植栽しました。「森と大切さを再認識し、自然環境保全意識の高揚を図ろう」と参加者は、美しい海は、美しい森林を育むこと」と参加者は、植樹に汗を流していました。



美しい森林を作ろうと植樹に精を出す漁業関係者



前島の自然を堪能しながら歩く参加者の皆さん

## 前島の自然と歴史を満喫 春の前島ウォーク

牛窓町前島で4月15日、牛窓町観光協会主催の「R赤穂線沿線ウォーキングイベント」春の前島ウォークが行われました。あいにくの小雨の中、76人が参加。参加者の皆さんは、カリヨンハウスでオリエンテーションをした後、約4キロの道を歩きました。

水仙の花が咲くグリーンロードを登ると、大坂城築城残石群跡に到着。島の自然と歴史を堪能しました。島民手作りの草もちのおみやげもあり、参加者の皆さんは、鳥の人たちの温かいおもてなしに、感動していました。

## 大きく育ててね

### 吉井川河川敷でアユ放流祭

吉井川河川敷で5月8日、アユ放流祭が行われました。この放流祭は、吉井川南部漁協が毎年行っているもので、行幸幼稚園（奥田悦代園長・園児数96人）のふじ組・みどり組の園児ら37人が参加。この日は、体重10g程度の稚魚が約1万匹用意されました。園児らは、漁協の人からアユの稚魚をバケツで受け取り、河原に並んで一斉に放流。「アユさん、大きく育ててね」と呼び掛けながら、泳ぎ去る稚魚を見送っていました。



うまくつけるかな？

## 花と思いやりの心を育てる

### 人権の花運動

牛窓東小学校（徳光泰弘校長・児童133人）で5月11日、人権の花運動の一環として、花の種とプランターの贈呈式が行われました。岡山地方法務局備前支局と備前人権擁護委員協議会の主催で、人権イメージキャラクターの「まもる君」「あゆみちゃん」も参加。馬場和彦備前人権擁護委員協議会長が「生きていくということを大切に、しっかりと学んでください」と児童たちに呼びかけました。その後、児童代表に、ヒマワリ・マリーゴールド・サルビアの種やプランターが手渡されました。



ヒマワリなどの種やプランターが児童らに手渡されました

## 世代を超えた触れ合い 辻ふれあいまつり

4月30日、辻多目的ふれあひ広場（邑久町上山田）で第9回辻ふれあいまつりが開かれました。子どもから高齢者まで触れ合いの場を作り、地域の交流を深めようと、辻（邑久町上山田）の皆さんが企画。カラオケ大会やもちつきなどがあり、大勢の人でにぎわいました。子どもたちも参加したもちつきでは、「よいしょー」の掛け声とともにぺったん、ぺったん。子どもたちは大人の人に手伝ってもらいながら、重たそうにきねを振りおろしていました。もちつきの後には、銭太鼓や傘踊り、ビンゴゲームなどがあり、訪れた皆さんは地域の人と触れ合いながら楽しいひとときを過ごしました。